

卒業論文

**ライフイベントとしての就職活動
—その社会学的考察—**

平成 18 年度入学
社会学・地域福祉社会学専攻

平成 22 年 1 月提出

要旨

本論文は「就職活動によって将来を決めていくことは大きな覚悟を伴う。そこで、それぞれの生まれ育ってきた背景は違うかもしれないが、この職業選択期において人は何について思考をめぐらし、その先に進むにあたって何が影響を及ぼしたのか。」という問いが出発点であり、就職活動期の学生が直面する決定・選択項目とそれに変化を及ぼす要素を考察したものである。

第1章は、ライフイベントの定義と就職活動の現状と課題を示したうえで、ライフコースからみた職業選択期はどのように捉えられるのかを紹介し、その選択を行う上でサポートの役割は大きいと考え、ソーシャル・サポートに焦点を当てて紹介している。

第2章は、本論文を執筆するにあたってインタビューした目的とその対象者、そして調査の方法を具体的に示している。

第3章では調査した結果を、学生が決定・選択していく事項の主な4つに分類している。

第4章では、各項目において何が変化に影響を与えたのかについての要素を絞り込み、要素と行動の関係について分析している。

第5章では、最後のまとめとして、各決定項目に影響を及ぼす要素の中でさらに3つの要素を取り上げ、分析を踏まえて、就職活動をしていく中でどのような役割を果たしているのかを述べている。